

小学校第5学年 図画工作科 題材名「楽しく美しく伝えよう」

1 本題材で人権教育を進めるにあたって

本題材は、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを発想して表すという表現活動において、社会や学校、住んでいる町について伝えたいことからポスターに表したいことを見付けて、形や色の組み合わせや構成を工夫して表すことをねらいとしている。

本学習では、高学年児童の発達に応じて、他者や社会にかかわろうとする意図や目的のある内容から、自分の思いを伝えるものとして、人権の問題をポスターで表現させる。自分の感情を形や色に表し、自分を見つめる活動を通して、「仲間」「人とのつながり」といった自他の人権を尊重していく上においての重要な諸概念の知的理解へつなげていきたい。

学習の際は、自分の伝えたいことを友だちと交流し考えを深めたり、書物等を使って調べたりして、主体的に取り組みせる。人権の問題について振り返らせること、表し方を構想し表現させながら伝え合わせることで、自他の人権を尊重していくことを理解させたい。

2 題材の目標

形や色の組み合わせや構成を工夫して、社会や学校、住んでいる町について関心のあること、感じたことや考えたことをポスターに表す。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

みんなが仲良く幸せに生きていくためには、「仲間」や「人とのつながり」が大切なことを理解する。(知識的側面)

4 指導のポイント

(1) 知的理解を図る上で大切にしたいポイント

- 導入で、「熊本県子ども人権作品展」等のポスターを用い、鑑賞したり、表現活動の参考資料にしたりすることで、伝えるためにはどんな言葉と絵を組み合わせたらいいのかを考え、形や色、イメージの表し方を工夫する手がかりとし、児童が主体的に学習活動に参加できるようにする。
- 授業の中では、感じたことを伝え合う場を設け、みんなで仲よく幸せに生きるために「仲間」や「人とのつながり」が大切だということを、理解できるようにする。
- 友だちと交流する中で、より思いが伝わるように構成を工夫する場を設け、児童が主体的に他の児童と協力し合えるようにする。
- 道徳や学級活動との関連を図り、身の回りの偏見や不合理についても目を向けることができるようにする。また、これから自分でできることやクラスでできることを考えさせ、実践化につなげられるようにする。

(2) 人権が尊重される授業づくりの視点

①自己存在感

提示した資料から自分の思いをふくらませる場を設定したり、自分の思いを表現する場を工夫したりして、一人一人が活躍できるようにする。

②共感的人間関係

友だちとの交流を通して、友だちの発言や作品のよさに気づき、学ぼうとする態度を育てる。

③自己選択・決定

複数の資料から表したいものを選択したり、表現方法を考えたりするとともに、ペアやグループでの対話、学級全体での交流などの学習形態を工夫する。

5 学習の流れ

(1) 指導計画（8時間取り扱い）

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 「熊本県子ども人権作品展」等の人権ポスターを鑑賞し、人権ポスター制作への意欲をもつ。 (ワークシート1)	○人権ポスターを鑑賞し、参考にすることで、主体的に形や色の美しさなどを感じ、用途などを考えながら表し方を構想する意欲を高めさせる。
2 自分が伝えたいことを考える。	○人権の問題について伝えたいことを考えさせる。
みんなで仲よく幸せに生きていきたいという思いを、ポスターに表そう。	
3 ポスターに表したいことについて形や色、イメージ、言葉などを考える。 (本時) (ワークシート2)	○友だちと自分が伝えたいことを説明し交流することで、思いをふくらませる。 ○どんな言葉にするか、どんな形、色にすれば思いが伝わるか等について、友だちと話し合わせながら、アイデアスケッチに表現させる。
4 より思いが伝わるように、表すものそれぞれの形や色、大きさなどの組み合わせや構成を考えて表す。 【4時間】	○表したいことに合わせて、写真、色紙や毛糸などの身近な材料、自分で作った立体物などを貼って表すコラージュなどの方法を取り入れてもよいことを伝える。
5 鑑賞会を行い、お互いのポスターへの思いや作品のよさを伝え合う。 (ワークシート3)	○ポスターで何を伝えたかったか作品表に書き、発表することで知識内容を自らのものとさせる。

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (3/8時間目)

目標

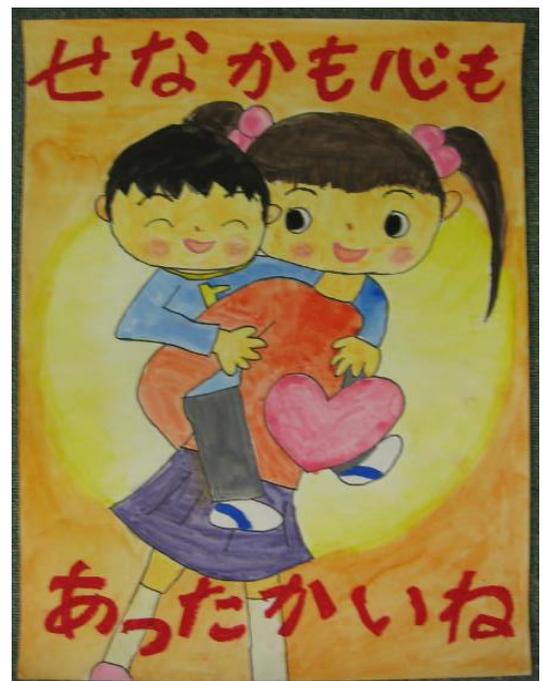
◇みんなで仲良く幸せに生きていきたいという思いを伝えるために、言葉や形、色の組み合わせや構成を工夫してアイデアスケッチに表すことができる。

人権教育で育てたい資質・能力

◆みんなで仲良く幸せに生きていくためには、「仲間」や「人とのつながり」が大切なことを理解する。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
1 前時の学習を想起し、自分の伝えたいことについて考える。	○前時で取り組んだシートから、自分がポスターに表したかったことを想起させる。	ワークシート 1
<p>みんなで仲良く幸せに生きていきたいという思いを、アイデアスケッチに表そう。</p>		
2 グループでの交流を通して、自分が伝えたいことをふくらませる。	○グループで、順番に自分が描きたい思いを発表させる。 ○友だちから、感想や助言を言ってもらったりシートにアドバイスを書いてもらったりすることで、伝えたいことをふくらませる。	ワークシート 1
3 友だちからのアドバイスや参考作品を参考にして、画面構成を工夫してアイデアスケッチを描く。 (1) ポスターの言葉を考える。 (2) ポスターの言葉や形、色を工夫してアイデアスケッチを描く。 (3) 友だちとアドバイスし合う。	○アイデアスケッチを見て、不十分な理解や誤ったとらえ方をしている場合は、個別指導を行う。 ○形や色などのアドバイスの視点を参考に、よさを認め合いながら話し合わせる。 ◇自分が表したいことを形や色、構成の美しさなどを考えながらアイデアスケッチに表している。 ◆みんなで仲良く幸せに生きていくためには、「仲間」や「人とのつながり」が大切なことを理解している。	参考資料 ワークシート 2
4 本時の学習をまとめ、次時以降の学習の見通しをもつ。	○児童の思いが明確になってきたこと押さえ、次時は、アイデアスケッチをもとに自分の作品に表していくことを伝える。	

【参考資料】 「平成24年度熊本県子ども人権作品展」ポスター



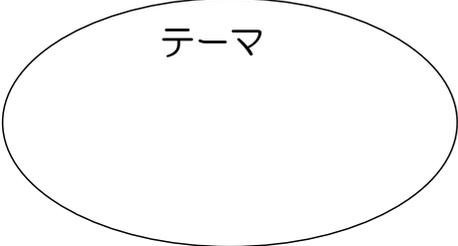
ワークシート1 「イメージマップシート」

イメージマップ「楽しく美しく伝えよう」

年 組 号 氏名 (

)

自分が伝えたいことについて調べ、そこからイメージすることばや
絵をかこう。



テーマ

ワークシート2 「アイデアスケッチシート」

アイデアスケッチシート「楽しく美しく伝えよう」

発想タイムでふくらませた思いを、ポスターに書くことばや形や色をイメージして、スケッチしよう。

- 1 グループトークで、自分が一番かきたいものを伝え合う。
- 2 ポスターのことばを考えよう。
- 3 表したいものをことばや簡単な形、色を工夫して友だちとアドバイスし合う。

年 組 号 氏名()

1 一番かきたいもの

2 ポスターのことば

3 かきたいものを、ことば・形・色を工夫して簡単にかいてみよう！

<スケッチ>

*ことばは、どこに入れるとより伝わるだろう？

友だちからのアドバイス

ワークシート3 「鑑賞シート」

鑑賞シート「楽しく美しく伝えよう」

作品を鑑賞し合い、友だちと意見交換しよう。

- 1 下の作品表に、ポスターで伝えたかった自分の思いを書く。
- 2 お互いの作品への思いを伝え合う。
- 3 お互いの作品のよさを見つけ、作品の感想を交換し合う。

年 組 号 氏名 ()	
題名	友だちから
作品への思い	